

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 9 日

事業名称		教育指導管理事務費[学校図書館指導員配置事業]									
予算科目	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	3	教育指導費	事業番号	11
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	教育指導 課 指導 係 課長名 小野 隆一										
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。									施策番号	1 - 1	
【施策名】 学校教育の充実									総合計画書(ページ)	31	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	市内小中学校に在籍する全児童・生徒					児童・生徒数					
	→										
2 指標の推移	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
	毎日読書する児童生徒数を増やす。					未読率(1日当たりの読書時間として「全く読書をしていない率」) 小学5年生、中学2年生(東京都学力調査の対象学年)					
	→										
3 経費	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
	図書館指導員の配置時間を増やす。					配置時間数					
	→										
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標			
	対象指標	①の数値	人	6,562	6,556	6,427					
	成果指標	②の数値	%	小学5年生：12.0 中学2年生：21.5	小学5年生：15.1 中学2年生：30.0	学力調査未実施のためデータなし					
	目標	②の目標値	%	小:10%、中:21%	小:10%、中:21%	-	小:10%、中:21%	小:10%、中:21%			
目標値設定の考え方 未読率を小学生は10%以下、中学生は21%以下を目指す。											
3 経費	事業費(実績)		円	18,564,175	18,374,608	19,599,704	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	一般財源		円	18,564,175	18,374,608	19,599,704					
	特定財源(国・都・他)		円								
	(うち受益者負担)		円								
	所要人数(再任用以外)		人	0.05	0.05	0.05					
	所要人数(再任用)		人								
	職員人件費(再任用以外)		円	412,200	415,500	419,000					
職員人件費(再任用)		円									
事業費+人件費		円	18,976,375	18,790,108	20,018,704						
4 環境変化等	(1) 開始年度 平成18年度										
	(2) 環境の変化 平成18年度以降順次配置校を増やした。児童生徒の活字離れや学力低下が問題となる中、基礎学力の定着を図る必要があり、学校図書館の有効活用を図る取り組みが各地で行われた。現在は、市内の小中学校15校全てに配置している。										

事業名称	教育指導管理事務費[学校図書館指導員配置事業]			
担当部署・課長名	教育指導	課	指導	係 課長名 小野 隆一

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特に無し。			
	6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)		
<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ		取組手法：⑧その他（お話し会や本の修理などで図書ボランティアを活用している。）		
<input type="checkbox"/> 取り組まない		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
7 課題	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 1校あたりの学校図書館指導員の配置時間を増やしたい。			
	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） 学校図書館指導員の配置時間が足りず、図書整備等の作業が十分にできていない。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 1校あたりの学校図書館指導員の配置時間を増やす。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 財政課と調整したい。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 学校教育の充実 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			